

研究課題名	進行性・転移性尿路上皮癌症例に対する標準化学療法（GC療法、Gem+Carbo療法）の効果に関する後向き研究
研究の意義・目的	進行性・転移性尿路上皮癌に対する標準的な化学療法（抗がん剤治療）を受けられた患者さんの、病気が今後どのような経過をたどるかを予測するための因子（予後予測因子）を調べ、最適な治療内容について考える研究です。
研究を行う期間	倫理委員会承認後～ 2023年3月31日
研究協力をお願いしたい方（対象者）	2009年4月～2020年12月に大阪市立大学医学部附属病院の泌尿器科で、尿路上皮癌の治療のためGC療法もしくはGem+Carbo療法を受けられた方が対象となります。 （GC療法：ゲムシタピン+シスプラチン）（Gem+Carbo療法：ゲムシタピン+カルボプラチン）
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 試料：手術時に得られた組織検体 診療情報等：年齢、性別、身長、体重、合併症、血液検査結果（血算、白血球分画、一般生化学）、診断日、臨床病期、前治療、リスク分類、治療開始後3-6か月ごとのCT, MRI, 骨シンチ 治療内容、経過に関するカルテ情報（再発・進行を認めた日あるいは転帰）
試料・情報の他機関への提供	この研究は大阪市立大学医学部附属病院泌尿器科のみで行い、他の施設に試料・情報は提供いたしません。
この研究を行っている共同研究機関	この研究は大阪市立大学医学部附属病院泌尿器科のみで行います。
試料・情報を管理する責任者	大阪市立大学大学院医学研究科 泌尿器病態学 研究責任者 加藤 実
本研究の利益相反	利益相反の状況については大阪市立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪市立大学大学院医学研究科 泌尿器病態学 加藤 実 電話番号：(06) 6645-2121（代） メールアドレス：kato.minoru@med.osaka-cu.ac.jp